

仕 様 書

玄々化学工業株式会社

◇ 品名／品番

もくぬへる CLT・集成材用シーラー剤／ IZ-06

◇ 特 長

- ① 木材表面の汚れ(手垢、水垢など)を防ぎます。
- ② 木材の防虫・防腐・防カビ効果に優れます。
- ③ 木質感を損なわない浸透型透明塗料。
- ④ 低臭、環境に優しい自然系原料を使用。
- ⑤ 外部で耐候性が必要な場合は、上塗りとして「外部用WPオイルステイン(19-ライン)」の塗装をお勧めします。

<安全性>

・ホルムアルデヒド放散等級／F☆☆☆☆[(一社)日本塗料工業会登録 登録番号 G01392]

※F☆☆☆☆は建築基準法における屋内に面積の制限なく使用できる建築材料を示す規格です。

・学校環境衛生基準 適合

・厚生労働省が濃度指針値を定める 14 物質不使用

・鉛・水銀・カドミウム・六価クロム等の有害金属類 不使用

◇ 用 途

屋内外木製品の下塗り、汚れ防止

◇ 塗装方法

刷毛、ローラー

◇ 標準塗布量／乾燥時間 (条件によって異なりますので目安として下さい。)

標準塗布量: 60～80g/m²(1 回塗りあたり)

乾燥時間(20℃): 指触乾燥＝15 分以上

上塗り可能＝24 時間以上

◇ 塗料性状 (一般性状値であり、規格値ではありません。ロットごとに異なる場合があります。)

項 目	方 法	結 果
外観(液色)	目 視	褐色
粘度(液温 25℃)	粘度カップ(IHS-NK2)	7±2 秒

◇ 塗膜物性 (結果は実測値であり保証値ではありません。)

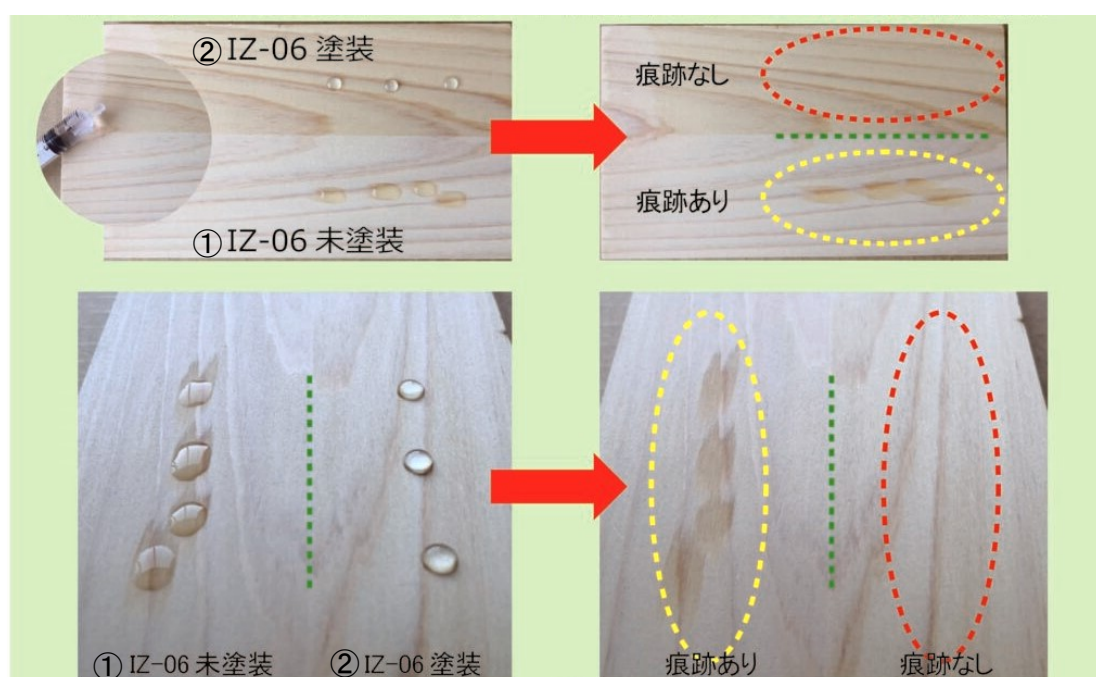
項 目	条 件		結 果
密 着 性 (碁盤目試験)	木 地	スギ、ツガ、ゴム、パイン、ナラ、セン、カバ、 マツ(ヤニのない部分)	異常なし

項 目	条 件		結 果
密 着 性 (碁盤目試験)	上塗り塗料 (層間)	水性サンジングシーラー「SS-50」	異常なし
		水性クリヤー・フラット「SC-25-**」	
		水性 2 液ウレタンクリヤー・フラット「SC-21-**」	
		水性外部用クリヤー・フラット「SC-30-**」	
		水性WPエナメル「S6-ライン」	
		外部用WPオイルステイン「I 9-ライン」	

【 耐吸水性 】

試験方法：木材表面の①無塗装 ②CLT・集成材用シーラー剤塗装 箇所の水を滴下し、1 分経過後にウエスでふき取って痕跡を確認。

試験結果：



CLT・集成材用シーラー剤を塗装することによって、水の浸透を抑え、浸み跡を防止することができる。
また、木材表面の疎水性を保ち、親水性の汚れも付きにくくなる。

◇ 標準塗装工程

適用範囲：屋内外木製品全般(未塗装の場合)

①仕 様：透明仕上げ

工 程	使用材料／配合比(重量比)	塗装方法	塗布量(1回)	乾燥時間(20℃)
1	素地調整	サンドペーパー P180～P240		
2	表面処理	CLT・集成材用シーラー剤 「IZ-06」	100 刷毛 ローラー	60～80g/㎡ 24 時間以上

②仕 様：耐候性 着色仕上げ(屋外)

工 程		使用材料／配合比(重量比)	塗装方法	塗布量(1回)	乾燥時間(20℃)
1	素地調整	サンドペーパー P180～P240			
2	表面処理	CLT・集成材用シーラー剤 「IZ-06」	100	刷毛 ローラー	60～80g/m ² 24 時間以上
3	上塗り①	外部用WPオイルステイン 「I9-ライン」(カラレス単体除く)	100	刷毛 ローラー	60～80g/m ² 12 時間以上
4	上塗り②	外部用WPオイルステイン 「I9-ライン」(カラレス単体除く)	100	刷毛 ローラー	60～80g/m ² 24 時間以上

※塗料の染み込んだ布・スポンジなどは重ね置きしておくで発熱により自然発火する恐れがある為、水を張った金属容器に浸けて保管し、早めに焼却処分して下さい。

※塗装前に汚れや付着物、旧塗膜は除去して下さい。旧塗膜が残っている場合、密着が悪くなる事があります。

※条件によって塗布量、乾燥時間は変わりますので目安として下さい。

◇ 警告

- ・引火性の液体である。
- ・溶剤中毒の恐れがある。

◇ 注意事項

- ・可燃性ですので、火気のある場所での使用、保管は絶対に避けて下さい。
- ・塗料の染み込んだ布、スポンジなどは重ね置きしておくで発熱により自然発火する恐れがあります。必ず水を張った金属容器に浸けて保管し、早めに焼却処分して下さい。
- ・素材にタンニン成分が多量に含まれる場合には塗装数日後に変色を生じることがあります。予め試し塗りをして確認してから使用して下さい。
- ・金属粉などが表面に付着していると塗膜が黒く変色し、染みになることがあります。スチールウールを研磨に使用することは避けて下さい。
- ・塗装時に使用した道具はシンナーなどでよく洗浄して下さい。
- ・初めて本製品をご使用される場合には、必ず目立たない場所で試し塗りを行って下さい。
- ・他社製品との併用についても同様に試し塗りを行って下さい。併用での不具合については、一切の責任を負いかねますのでご了承下さい。
- ・本来の用途以外には使用しないで下さい。
- ・塗料の貯蔵は5℃以上、35℃以下で保存して下さい。
- ・塗料使用後は必ず密栓をし、冷暗所(凍結しない場所)に保管して下さい。
- ・使用前には塗料を十分攪拌してから使用して下さい。
- ・塗布量および乾燥時間は、素材の種類や気温・湿度などにより異なるので目安として下さい。
- ・塗布量が多過ぎると乾燥が著しく遅くなり、ツヤムラ・乾燥不良の原因になりますので注意して下さい。また、塗布量が少な過ぎると塗料の性能を十分に発揮することができない場合があります。
- ・塗装前に、素材の汚れ、ヤニ、ワックスなどを除去してから塗装して下さい。
- ・旧塗膜を十分に取除いて下さい。他の塗料が既に塗装してある面には必ず試し塗りをして下さい。
- ・5℃以下での使用は避けて下さい。また、雨、雪の日や湿度が80％以上の日は塗装を避けて下さい。(乾燥時間が著しく遅くなります。)
- ・木材の乾燥が不十分な場合、塗膜の性能を十分に発揮することができない為、木材の含水率を20％以下に調整してから塗装して下さい。
- ・南洋材系堅木などの硬質材は高密度であり、塗料が浸透しにくい為、塗装の際は注意して下さい。
- ・下地が十分に乾燥していない状態で塗装した場合、仕上がりに影響が出る可能性があります。また、塗装後も同様に水などの影響が考えられる場合は注意して下さい。
- ・どのような場合でも換気に十分注意して下さい。

- 使用中は手袋などをして皮膚に付かないようにして下さい。
- 使用後は手洗い(うがい)をして下さい。
- 子供の手の届かない所に保存し、誤飲、誤食しないように注意して下さい。
- 植物や動物に掛からないように注意して下さい。
- 製品の取り扱い中はできるだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じて有機ガス用防毒マスク、または送気マスク、保護手袋、前掛けなどを着用して下さい。
- 飲まないで下さい。もし、誤って飲み込んだ場合には、直ちに医師の処置を受けて下さい。
- 目に入らないように注意して下さい。目に入った場合には直ちに大量の水で洗い、医師の処置を受けて下さい。
- 皮膚に付いた場合には石鹼で水洗いをして下さい。
- 容器からこぼれた場合には布で拭き取り、水を張った容器に保管して下さい。
- 火災の場合は、消火に炭酸ガス、泡または粉末消火器を使用して下さい。
- 中身を使い切ってから廃棄して下さい。
- 使用前には容器(ラベル)、カタログ、見本帳などの取り扱い注意事項を必ず読み厳守して下さい。
- 製品の取り扱いに当たっては、安全データシート(SDS)に従って下さい。
- 製品は性能の改善の為に予告無く仕様を変更することがあります。

◇ 廃棄方法

- 各自治体の廃棄物処理条例に準じて廃棄して下さい。
- 水路や下水道には流さないで下さい。